



[多くの来場者で賑わう秋田県ブース]

本会では、県内の食品事業者の新たな販路開拓を目的に3月6日(火)から9日(金)まで幕張メッセ(千葉県)で開催されたアジア最大級の飲食・飲料専門展示会「FOODEX JAPAN 2018」に出展しました。本会としては、今年で4年連続の出展となります。

今回も県や金融機関等と連携することで大規模な秋田県ブースを設置し、県内24の食品事業者を支援するため、本会が企画・運営全般を担いました。

期間中は、輸入・卸売業者、小売業者等のバイヤーなど国内外から約72,000名が来場し、会場では熱を帯びた商談が繰り広げられました。

秋田県ブースでは、本会を含む支援機関の職員による呼び込みや「なまはげ」「こまち娘」の賑やかしにより、期間中ひっきりなしに人が訪れるなど、大盛況を収めることができました。



[なまはげとこまち娘]

このたびの出展に関しては、昨年末に「効果的な展示方法や商談の仕方」をテーマに研修会を開催したことで、出展者からは「去年の研修で学んだことをダイレクトに活かすことができた」といった声を頂くなど、準備段階から効果的な支援を実施することができました。

今後は、展示会出展による契約成立金額や件数などを調査し、各支援機関と情報共有することで次年度以降の出展支援に反映させていく予定です。

出展者から、このたびの展示会における成果や感想を伺いましたのでご紹介します。

■あきたセールスプロモーション協同組合(大仙市)

初出展となる今回は、組合員が製造するトマトジュース3種類を重点的に売り込みました。商品特徴の「トマトを1品種に限定した丸ごと搾汁加工」を重点的にPRすることで、Amazonジャパンから引き合いがあるなど、今後の契約成立に向けて交渉を続けていく予定です。

バイヤーから沢山の意見を頂けたことから、今後は商品の市場動向を見極めながら、価格・味・パッケージデザイン等を検証・改善することで、新たな販路を切り開いていきたいと考えています。



[出展商品]

■渉水産(男鹿市)

昨年に続いて2回目となる今回の出展は、ワカメと昆布巻きの新商品を用意して臨みました。男鹿産真昆布を贅沢に使った「漁師の手づくり昆布巻」はバイヤーからも好評で、パッケージデザインを一新させることで百貨店向け商品として販路展開していきたいと考えています。

前回の出展に比べ、今後の取引に繋がる商談を多くできたことは大きな収穫でした。商談相手をあらかじめ絞り込むことで、じっくり商品説明できたことが成果に結びついたと思っています。

また、大手のバイヤーから商品コラボのご提案も頂けたことなどから、これからの展開を楽しみにしています。



[出展商品]